令和５年度

学校だより
春の臨時号

かわかみ

令和６年３月２５日

横浜市立川上小学校
横浜市戸塚区秋葉町203－２　　電話 811-9345　FAX811-5961

年度末に寄せて　～これからに繋がる育ちの姿を振り返る～

学校長　　堀部　尚久

桜のつぼみもまた一段と膨らみを増して、花開くそのときを待つばかりです。

３月１９日（金）、第１３２回卒業証書授与式が行われ、４６名の卒業生が川上小学校を巣立っていきました。本年度は、在校生代表の５年生参加の下、保護者の人数制限も行わず、地域のご来賓の皆様方とともにたくさんの人たちが見守る中での門出を祝う式となりました。巣立ちのときを迎えた卒業生は、呼名を受けて壇上に立ち、卒業証書を受け取りに歩き出す前に、中学校生活に向けた思いや決意や将来の夢、抱負などを、一人ひとり自分の言葉でメッセージとして語りました。小学校６年間の学びや育ちをもとに、中学校生活で挑戦したいこと、頑張っていきたいこと、続けていきたいことなど、子どもたちの思いは実に様々でした。また、将来の夢として、就きたい職業を理由とともに具体的に語る子どももたくさんいました。本校での小学校での学びを修了した子どもたちが、式場の大勢の人たちを前に、堂々と自信をもって自らの思いとして紡ぎだされた言葉は、母校を巣立つ門出の日にふさわしく、これからの自身の在りようをしっかりと見据えた言葉であり、本当に頼もしく立派に感じられました。

校長として卒業生に向けた式辞では、我慢することが多かった３年間であっても、その時々の状況を受け止めながら、気持ちが萎えることもなく前を向いてひた向きに自分たちの学校生活を創り上げてきたことをはじめとして、子どもたちが輝いた思い出の姿を振り返るとともに、卒業生への私からの最後のメッセージとして、**「『感動に満ちた生き方』を求め続ける」**ということをテーマに、お話ししました。

「感動に満ちた生き方」については、大事にしてほしいと思う「三つの感動」を考えました。一つは、**「知識から得る感動」**です。新しいことを知る、本当のことを知る、物事の本質を知るということなどの歓びとしての感動です。知識は広く深く尊いものであり、生きて働く知識は使いこなすことで「知恵」に変わると考えます。自分が得たいと思う意思や志によって自ら得た知識には、心の底からの感動があるはずです。次に、**「体験から得る感動」**です。変化を予測できないこれからの社会で活躍するために、自分の体験を豊かにし、体験を通して記憶に刻まれるような感動を得ることは、ばらばらであった一つひとつの「体験」が、厚みのある豊かな「経験」となって生きていく上での判断の根拠にもなると考えます。そして、**「自分発見の感動」**です。言い換えると、「新しい自分を見付けること」への感動です。生きていく中で、「自分は、こんなことができる」「自分には、こんなよさがある」など、新しい自分に気付いたときの感動は、言葉には言い表せない感動が生まれるはずです。「知識の感動」「体験の感動」「自分発見の感動」との出合いを、卒業生が日々の学びの中でもこだわり続けた**「読書の感動」**とともに心の底にもち続け、自分の夢や目標の実現に向かって努力し、数々の「感動」との出合いを楽しみながら、「『感動に満ちた生き方』」を求め続けてほしいということ」、「いつでも感動に出合おうとする自分でいるために、自分ができることに一生懸命に努力すること」を願って止まないということを私の思いとしてお伝えしました。本校で育った子どもたちが、これからの人生でたくさんの感動と出合い、困難にもめげずに夢や希望をもって努力し、夢の実現を果たすことを私たち教職員は心より楽しみにしています。

さて、１月９日（火）から始まった後期後半は、５２日間ありました。感染症のまん延による学級閉鎖や職員の体調不良等によって、安定した教育活動の維持に苦慮したこともありましたが、その都度、子どもたちの頑張りや保護者・地域の皆様のご理解やご協力に支えられ、大きな学校行事でもあった「川上かがやき学習交流会」の開催を経て、今日まで本年度のまとめとともに、次年度に繋がる活動を着実に重ねることができました。本日、お子さんの学校での学びや育ちの様子について記した後期「あゆみ」をお渡ししました。今回作成の「あゆみ」には、１０月中旬からの後期の学びや生活の様子とともに、それまでの前期の学びや生活の様子を加味した年間を通した育ちの様子としての「観点別評価・評定（３年生以上）」と、お子様の顕著な姿に基づく「所見」が記載されています。子どもたちには、担任が一人ひとりに手渡すときに、記されていることについての説明とともに、記し切れなかった努力の足跡や今後の課題や挑戦への期待についての声掛けをしています。ご家庭でも、お子さんが受け止めた言葉掛けや「あゆみ」に記されたことを踏まえ、お子さんができるようになったこと、分かるようになったこと、努力をし続けてきたこと、さらに、これから頑張っていくことなど、学習や生活の様子、友達との関わり方など、この一年間の育ちの姿をお子さんといっしょに振り返っていただくことをお願いいたします。

明日からは、１３日間の年度末休業・春季休業に入ります。新年度は、４月８日（月）の着任式・始業式から始まります。また、その前の週の５日（金）は、５２名の新１年生を迎えて、入学式を行います。そのため新６年生は、４日（木）を入学式や新年度に向けた準備作業をするための登校日として設定しています。進級後の最上級生としての初仕事に向き合う子どもたちの姿がまた楽しみでもあります。

保護者・地域の皆様方には、本年度も本校の教育活動に対して、様々なところでご理解ご協力とともに、たくさんの温かい励ましをいただきました。教職員一同、心よりお礼申しあげます。ありがとうございました。次年度もまた、新組織体制の下、新たな学校創りに歩み出すこととなりますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。